

富谷小だより

渋谷区立
富谷小
学校通信

2021年、新たな年を迎えて

副校長 西村 綾乃

2021年、新たな年を迎え、保護者、地域の皆様のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

さて、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大という深刻な局面を迎え、社会が大きく変化しました。12月には罹患者が急激に増え、学校における教育活動にも大きな影響を与えました。そんな中、PTAの方々の協力のおかげで感染症への対策をしつつ、学習発表会を無事終えることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。様々な行事や活動を経験すること、そしてそれを見てもらうことで、伸びる力もあります。今回も、教職員、保護者の皆様が力を合わせ「子供たちのためにできることを」という思いから、保護者の皆様の参観が実現しました。この行事をとおして、子供たちの成長を感じていただくことができたのではないのでしょうか。2021年も年明け早々、国から「緊急事態宣言」が発令されました。本日この便りとは別に、今後の教育活動について校長名で保護者宛にお手紙を配布しております。更に対策を講じながら子供たちの安全を守りつつ、何ができるかを考えながら、教育活動を進めて参ります。

さて、今年度は感染症拡大の影響もあり、運動会など、主要行事の保護者参観を優先とさせていただいたため、土曜日授業等の公開を行えませんでした。例年ですと「道徳授業地区公開講座」として地域・保護者の皆様に来校していただき、道徳の授業をご覧いただく機会がございましたが、一斉公開をすることが難しい状況となりました。保護者参観も今後の状況を踏まえての決定となりますが、保護者の皆様には「特別の教科 道徳」に何らかの形として触れる機会をもつていただき、子供たちの心の教育について共に考えていきます。

道徳が教科化される中、日本道徳教育方法学会の会長である渡邊満氏は、道徳教育は、「個々人の内面の枠内にのみとどまる学習ではなく、『個々人が各々参画する社会の主体的な構成員として活動するために必要な力を育成する任務』を担っている」と、その著書『「特別の教科 道徳」が担うグローバル化時代の道徳教育』において明示しています。道徳の学習が現実社会の問題とつながることで、道徳の学習がリアリティをもち、自分ごととして考えられるようになります。道徳の時間には、提示された問題場面に登場する様々な立場の人々の考え方や行動を知ることとおして、子供たちが様々な問題に突き当たったときに、どのように行動選択をしていくか、について考える素地を養っていきます。道徳教育は「特別の教科 道徳」だけでなされるものではなく、各教科、領域で学んだ知識も判断する際の手掛かりとしていきます。勿論、道徳性を養うには学校と家庭が両輪となり、子供たちの心を育てていくことも大切です。道徳科の目標「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ができるよう、学校と家庭、それぞれの役割についても共に考えていきたいと思っております。

1月行事予定

日	曜	学 校 行 事 等
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	冬季休業日終
8	金	4時間授業 始めの会 給食始
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	5時間授業 安全指導 書き初め会(1~3・6年)
13	水	体育朝会 書き初め会(5年) 身体測定(1・2年) Kids VALLEY(4)(延期)
14	木	避難訓練 書き初め会(4年)
15	金	書き初め展始 身体測定(3・4年、いずみ)
16	土	
17	日	渋谷区防災点検の日
18	月	児童朝会 委員会活動⑥
19	火	身体測定(5・6年)
20	水	なかよし班活動 まなび~
21	木	薬物乱用防止教室(5・6年) 脊柱側弯 検診(6年)
22	金	
23	土	土曜日授業(保護者参観中止)
24	日	しぶやニュー駅伝
25	月	児童朝会 クラブ活動⑥
26	火	
27	水	書き初め展終
28	木	
29	金	1年4時間授業 新1年保護者会
30	土	
31	日	

【2月の主な行事予定】

- 3日(水) 5時間授業
- 4日(木) 学校保健委員会 5時間授業
- 13日(土) 土曜日授業(保護者参観予定) 国際交流デー 富谷まつり(地域開催 午後)
- 15日(月) クラブ活動見学(3年)
- 17日(水) 5時間授業 渋谷タブレットの日 in 富谷小 フェンシングイベント(4年)
- 19日(金) TOKYO GLOBAL GATEWAY 校外学習(4年)
- 26日(金) Kids VALLEY(5年)
- 27日(土) 土曜日授業 移杖式 保護者会(全)

学習発表会

学習発表会委員会

葛生 莉夏子

当日は、各家庭一名という制限の中でしたが、ご来校いただきありがとうございました。

この状況下で、開催できるか、できるとしたらどのような形で開催するかを、年度初めから話し合いを重ねてきました。今年度、児童鑑賞日は一学年のみが体育館での鑑賞、他の学年はオンライン配信を使い、教室での鑑賞となりました。この状況下で、マスクをしたまま合奏、演技をすることになりましたが、このようなやり方だからこそ、動きや声の出し方など表現に工夫が見られました。練習、本番を通して、学年で一つのものを作り上げる難しさ、楽しさを実感し、本番が終わった後は達成感に満ち溢れた表情を見せてくれました。この経験を、これからの日々の学校生活に生かしていきます。

